

## 指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

### I 基本情報

<b>1 施設の概要</b>			
名称	札幌市菊水元町地区センター	所在地	札幌市白石区菊水元町5条2丁目4番20号
開設時期	平成12年2月6日	延床面積	1,249.30㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	多目的ホール、集会室、実習室、和室、図書室、事務室。		
<b>2 指定管理者</b>			
名称	札幌市菊水元町地区センター運営委員会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	<p>非公募</p> <p>非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。</p>		
指定単位	<p>施設数：1施設</p> <p>複数施設を一括指定の場合、その理由：</p>		
業務の範囲	<p>(1) 統括管理業務</p> <p>(2) 施設・設備等の維持管理に関する業務</p> <p>(3) 事業の計画及び実施に関する業務</p> <p>(4) 施設の利用等に関する業務</p> <p>(5) 前各号に掲げる業務に付随する業務</p>		
<b>3 評価単位</b>			
	<p>施設数：1施設</p> <p>複数施設を一括評価の場合、その理由：</p>		

## II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価											
1 業務の要求水準達成度														
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>当運営委員会は、菊水元町地区センターの管理運営に当たり、「地域住民の、地域住民による、地域住民のための、コミュニティづくり」を目標として、次の3点を定めている。</p> <p>1. 施設の管理運営に当たっては、利用者の視点に立って、地域に根ざしたキメ細かなサービスの提供を目指す。</p> <p>2. 日々の管理運営に当たっては、来館者に常に平等・公平に接し、来てよかったと満足感到満ち溢れる接遇を目指す。</p> <p>3. 何かがある、出会える、発見できる、自己実現を満たすことのできる、地域における存在感のあるコミュニティ施設を目指す。</p>	<p>当地区センターの開設目的である地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって、地域住民の福祉の増進に寄与すべく、運営委員会において基本方針を策定している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められたとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。利用者の利便性向上や地域住民のコミュニティづくりを目的とした備品の購入・設置を利益還元により実施するなど、利用者の視点に立ったセンター運営を行っていることは評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	協定書に定められたとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。利用者の利便性向上や地域住民のコミュニティづくりを目的とした備品の購入・設置を利益還元により実施するなど、利用者の視点に立ったセンター運営を行っていることは評価できる。			
	A	B	C	D										
	協定書に定められたとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。利用者の利便性向上や地域住民のコミュニティづくりを目的とした備品の購入・設置を利益還元により実施するなど、利用者の視点に立ったセンター運営を行っていることは評価できる。													
	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>管理運営の基本方針第2で「日々の管理運営に当たっては、来館者に常に平等・公平に接し、来てよかったと満足感到満ち溢れる接遇を目指す。」と定め日々実践している。</p> <p>H29年2月のアンケートでは、再度利用したいとの割合が98%で、職員の接客対応がとても良い・良いの割合が88%であり、来てよかったと満足感到満ち溢れる接遇の結果であると考えている。</p>	<p>アンケート結果にも表れているように、日々職員全員が管理運営基本方針を理解して、業務にあたっており、要求水準は満たしている。</p>												
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>事務室、集会室の窓側の照明やロビーの照明は、間引いており、トイレ等の照明も利用がないときは消灯している。冷暖房についても、外気温に応じてこまめに設定を変更した。</p> <p>給湯室の貯湯式の高温給湯器2台は継続して停止している。利用者がお茶等でお湯が必要な時は、事務室で電気ケトル等を貸し出し、節電に努めている。また、事務処理に関しては、印刷やコピーは両面印刷を常とし、環境に配慮した運営を行っている。</p> <p>故障した照明器具、受付カウンターの照明器具及び常時点灯している図書室前通路の照明器具を、LED照明に変更し、節電に努めている。</p>	<p>地球温暖化等及び北海道電力の電力供給を考慮して、できる限りの節電対策を行っており、当該項目については適切に対応している。</p>													
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>運営委員会の下に、事務局を置き、運営責任者としての事務局長、常勤の事務職員(2名)及び図書職員(2名)、パート職員(日勤3名)、パート職員(夜勤3名)を採用している。また、このほかに緊急時等に臨時職員を採用できることとしている。</p> <p>なお、札幌東労働基準監督署に就業規則届を提出している。</p>	<p>運営委員会の下に事務局を置き、管理運営体制を確立している。</p>													

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

廊下や図書室の照明器具の故障に伴い、当該故障照明器具をLED化した他、受付カウンターの照明器具及び常時点灯している図書室前の照明器具もLED化した。

また、ロビーや2階の古いソファを廃棄処分とし、ロビーには2セットのテーブル・椅子を設置し、利用者がくつろげるスペースを拡充した。2階のソファは新調した。

図書室のロールカーテンの劣化が進んでいたため、すべてを新調した。また、多目的ホール内の得点版も劣化が顕著であったため、新品を購入した。

料理講習会で使用する実習室の包丁、まな板、フライパン等の調理器具を新調した。

地域住民の、地域住民による、地域住民のための、コミュニティづくりのために提供できる設備等を改善し、地域住民が使いやすい施設となるよう努力している。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

清掃業務、警備業務、エレベーター保全業務、自動ドア保全業務、ボイラ保全業務、消防設備保全業務、自家用電気工作物保安管理業務、舞台装置保全業務、建築基準法定期(建築・設備)点検業務、外構緑地管理業務(草刈)、除排雪業務を第三者に委託した。委託業務については、その都度履行確認を行い、すべての委託業務が適切に行われていた。

委託業務については、的確な監督と履行確認を行っており、問題なく終了している。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回協議会 9月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度4～9月事業報告</li> <li>・平成28年10月以降の講座等の概要</li> <li>・平成28年度4～8月収支報告及び決算見込み</li> <li>・その他運営向上に関する協議</li> </ul>
第2回協議会 3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度10～2月事業報告</li> <li>・平成28年度の決算見込み</li> <li>・アンケート結果について</li> <li>・新年度の開放事業について</li> <li>・新年度に新規事業について</li> <li>・その他</li> </ul>
第1回 区・館長会議 7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区からの情報提供</li> <li>①応急救援備蓄物資の交付について</li> <li>②無料開放事業の削減に対する情報公開請求について</li> <li>③まちづくりイベント広場について</li> <li>・指定管理期間満了に伴う管理業務の更新について</li> <li>・各センターの利用状況及び利用率の取り組みについて</li> <li>・その他</li> </ul>

年2回の運営協議会を開催し、管理業務の状況及び収支報告を行った。管理運営水準の維持・向上に向け、有意義な協議を行うことができ、その内容は平成29年度に活かしている。また、区地域振興課主催の館長会議に参加して情報交換を行った。

第2回 区・館長会議 2月1日	・区からの情報提供 ①消費税増税延期による協定書改定について ②備品購入(予算)について ③北白石地区センターのアスベスト問題について ④募金箱の盗難事件について ⑤財務・業務監査について ・無料開放事業の見直しについて ・各地区センターの利用状況及び利用率向上の取り組み ・その他
<協議会メンバー> 白石区地域振興課長、同地域活動担当係長、菊の里まちづくりネットワーク協議会総務副部長、菊の里地区交通安全実践会会長、菊の里地区交通安全母の会会長、日本赤十字奉仕団菊の里分団長、菊の里地区青少年育成委員会会長、運営委員会会長、同副会長(2名)、同総務部長	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

現金等取扱規程を定めており、毎日の利用料金は翌金融機関営業日に、館長の決裁を得て、金融機関に入金して管理している。また、毎月月締めでの帳簿と現金の確認も行っており、資金、現金の管理は適正に行っている。

現金等取扱規程に則り、適正に管理している。

▽ 要望・苦情対応

館内に「ご意見箱」を設置している。窓口等での苦情には速やかに対応しているが、平成28年度には特段の苦情はなかった。また、日頃から要望等については、可能なものは対応するように努力している。

苦情には速やかに対応することとしている。要望についても、可能なものは対応することとしている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

会館の利用者数等は毎日記録して適正に管理し、利用状況として毎月報告している。

2月に実施したアンケートでは、224名から回答があった。当地区センターを今後も利用したい人の割合は98%であり、職員の接客対応については、88%の方が良い以上の回答であった。また、館の清掃についても92%の方が良い以上の回答を寄せている。

また、アンケートにおいて、ストレッチ講習会の要望が複数あったため、新年度において実施する講習会に反映させた。また、白石区民でないために講習会に参加できなかったとの意見があったため、新年度からの講座等の対象者を市民に拡大した。

日々の記録は適正に取得し、管理・報告している。

アンケートについても、年度末を目途に毎年実施し、要望等で可能なものは、翌年度の事業に反映することとしている。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>平成27年2月に札幌市菊水元町地区センター運営委員会会則施行細則を改正し、平成27年4月1日から契約職員の正職員化を図っている。また、同施行細則から、労働条件等を分離し、別途札幌市菊水元町地区センター運営委員会就業規則を策定している。</p> <p>会則、会則施行細則及び就業規則は、札幌東労働基準監督署に提出しており、労働関係法令を遵守している。</p> <p>常勤職員には健康保険(協会けんぽ)や厚生年金保険に適正に加入させ、健康診断も実施している。また、「さぼ一とさっぼろ」にも加入している。</p>	<p>労働関係法令等については、遵守しており、雇用環境の向上にも努力している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">各種法令を順守して適正な運営を行っており、要求水準を満たしていると評価できる。今後も、継続した取り組みを実施していただきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	各種法令を順守して適正な運営を行っており、要求水準を満たしていると評価できる。今後も、継続した取り組みを実施していただきたい。			
A	B	C	D								
各種法令を順守して適正な運営を行っており、要求水準を満たしていると評価できる。今後も、継続した取り組みを実施していただきたい。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>緊急時の連絡網を作成しており、近隣の病院や関係業者に速やかに連絡ができる体制を整えている。また、運動等の講座や行事の際には、不測の事故に備えて行事保険に加入している。さらに、施設の不備等による万が一の事故に備えて賠償責任保険にも加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>清掃業務、警備業務、エレベーター保全業務、自動ドア保全業務、ボイラ保全業務、消防設備保全業務、自家用電気工作物保安管理業務、舞台装置保全業務、建築基準法定期(建築・設備)点検業務、外構緑地管理業務(草刈)、除排雪業務は、第三者委託により実施した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>防災計画書、菊水元町地区センター消防訓練実施要領及び自衛消防訓練計画を作成している。消防訓練を8月26日と12月16日に実施した。</p>	<p>緊急時の連絡体制は完備している。また、行事保険や賠償責任保険に入っており、不測の事態への備えはできている。</p> <p>施設・設備の維持管理については、第三者委託により適正に維持管理している。</p> <p>消防署と連携を図り、消防訓練を2回実施した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">利用者の安全確保に努めており、適正に実施されているものと評価できる</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	利用者の安全確保に努めており、適正に実施されているものと評価できる			
A	B	C	D								
利用者の安全確保に努めており、適正に実施されているものと評価できる											
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務</p> <p>パソコン講習会、パン作り講習会、そば打ち講習会、料理講習会、男の料理講習会、親子料理教室、春休みオヤツ作り教室、子ども科学工作教室、やさしいズンバダンス講習会を開催した。また、「トラブルにならない相続の話」、「健康生きがいとお金の話し」、「もしかして私も認知症？」の3つの講演会も開催した。、</p> <p>その他には、クリスマスオブジェを作る講習会、一日司書体験を実施した。</p>	<p>参加者が少なかった講習会は、内容等の再検討を行うこととしている。</p> <p>毎年、アンケートの要望や住民のニーズを拾い上げ、新しい講習会等を検討することとしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">高齢者向け講演会や、親子や子どもを対象とした事業を多数展開するなど、区民のニーズを把握し、地域住民が参加しやすい事業の実現に積極的に取り組んでいることは評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	高齢者向け講演会や、親子や子どもを対象とした事業を多数展開するなど、区民のニーズを把握し、地域住民が参加しやすい事業の実現に積極的に取り組んでいることは評価できる。			
A	B	C	D								
高齢者向け講演会や、親子や子どもを対象とした事業を多数展開するなど、区民のニーズを把握し、地域住民が参加しやすい事業の実現に積極的に取り組んでいることは評価できる。											

<p>▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する情報収集及び提供業務</p> <p>「子育てサロン」に共催し、12回開催した。親子でいっしょに参加できる「読み聞かせの会」も12回実施した。また、囲碁交流会や麻雀交流会を実施した。子供を対象として夏休みと冬休みに映画会を開催している。</p> <p>スポーツ交流会としては、菊の里卓球交流会、菊の里テニポン交流会、菊の里ミニバレー交流会を行った。なお、交流会の対象者は原則地域内の居住者としている。</p> <p>このほか11月3日の文化の日に、「文化祭」を開催したほか、地区センターで飲酒が可能であるとの利用PRを兼ねた「菊の里サロン」としての「愛DEバラビヤガーデン」、「ほろ酔いコンサート&amp;ダンス」及び「ギター演奏とワインの夕べ」を開催した。</p> <p>菊の里大学では、おやつ等をつくる「つまみ食いカフェ」を開催した。</p> <p>▽施設開放事業(無料)に関する業務</p> <p>卓球、ミニバレー、バドミントン、バレーボール、テニポン、囲碁・将棋の種目で一般開放事業を行ったほか、地域居住者に限定した卓球、ミニバレー及びバドミントンの開放事業も行った。</p> <p>卓球 ;100日、300時間、1,761人  ミニバレー ;123日、336時間、642人  テニポン ;51日、153時間、648人  バレーボール ;51日、204時間、328人  バドミントン ;33日、66時間、206人  地域限定 ;86日、258時間、853人  囲碁・将棋 ;113日、452時間、1,591人</p> <p>▽ 図書業務</p> <p>図書室での地域住民に関する事業としては、貸出・返却等のカウンター業務や返本・予約本の処理体験を内容とする「一日司書体験」、「ブックカバー掛け講習会」、小学生を対象とした「冬休みクイズに挑戦」を行った。</p>	<p>スポーツ交流会に改めてからは、当地区センターの開放事業参加者等の地域住民が参加しやすくなっている。</p> <p>囲碁大会を囲碁交流会と改め、参加者の対局数を同じにし、参加者全員が最後まで楽しめるよう工夫した。</p> <p>各無料開放事業は、当地区に定着している。特に卓球とミニバレーは、地域住民の人气が高い。</p> <p>なお、無料開放時間帯に定期的に有料で使用したいとの申し出があった時間帯の開放事業は、新年度において曜日の変更や取り止めとしている。</p> <p>図書室での事業については、参加人数自体は少ないものの、充実した事業であると自負している。</p> <p>なお、小学生対象の「クイズに挑戦」には103名の子供が参加した。</p>
--	--

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H27実績	H28計画	H28実績
多目的ホール	件数(件)	865	870	976
	人数(人)	15,122	16,000	16,033
	稼働率(%)	65.8	67.0	75.8
集会室A	件数(件)	517	520	573
	人数(人)	4,880	5,000	5,401
	稼働率(%)	40.4	41.0	41.7
集会室B	件数(件)	513	520	543
	人数(人)	3,956	4,000	3,885
	稼働率(%)	38.0	40.0	38.0
実習室	件数(件)	303	320	285
	人数(人)	2,149	2,200	1,950
	稼働率(%)	24.9	25.0	24.0
和室	件数(件)	370	380	401
	人数(人)	4,572	4,600	4,471
	稼働率(%)	36.6	37.0	39.8
計	件数(件)	2,568	2,610	2,778
	人数(人)	30,679	31,800	31,740
	稼働率(%)	41.4	42.0	43.9

▽ 不承認 0 件、 取消し 0 件、 減免 0 件、 還付 0 件

▽ 利用促進の取組

規制緩和に伴う夜間の飲酒会合が可能になったこと  
のPRのため、平成28年度も当地区センター主催  
で「愛DEバラビヤガーデン」、「ほろ酔いコンサート」  
及び「ギター演奏とワインの夕べ」を開催し、運営委  
員や地域代表者等を通じて規制緩和の周知に努め  
た。

実績の対前年比で、多目的ホール、集会室A、集会室B及び和室の利用件数が伸びている。多目的ホールと集会室Aについては、利用人数の伸びも大きかった。別に集計した貸室形態別の資料では、特に有料貸室の人数・件数の伸びが大きかった。件数や人数の増加の理由の一つとして、無料開放時間帯の取扱いがある。一定の期日前迄の申込みについて、無料開放を中止し有料貸付を優先とする取扱いや、多目的ホールについては、無料開放を半面にして、残りの半面を有料で貸し付けるという取扱いが周知されてきたことが、件数・人数の伸びに貢献しているものと推量される。

規制緩和の1時間貸しは周知されてきているが、飲酒会合については、まだ利用が少ない。今後もPRを継続していく。

A	B	C	D
利用率が前年を上回ったことは評価できる。引き続き、PR方法を工夫するほか、利用のきっかけづくりとなる事業を展開するなど、利用率向上に努めていきたい。			

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>毎月、地区センターたよりを1,000部発行し、菊の里連合町内会区域、菊水元町連合町内会区域及び北郷地区に単位町内会を通じて回覧しているほか館内に、行事案内や講座の募集ポスターを掲示して各種講座等のPRに努めている。なお、平成26年度から地区センターたよりを2色刷りにして見やすい紙面に変更している。</p> <p>札幌市菊水元町地区センターのホームページでも、地区センター主催の行事のお知らせや、地区センターを利用しているサークルの紹介等を行い、さらには「地区センターたより」もホームページに掲載し、情報発信の充実に努めている。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>なし</p>	<p>2月に実施したアンケートでは、地区センター主催の行事について、「地区センターたより」をみて知っているという回答が多かったため、今後も内容の充実を図るとともに、情報満載のホームページの周知を図り、「地区センターたより」と「ホームページ」で情報発信を強化していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">適正に実施されており、要求水準を満たしている。効果的なPR方法の検討を継続しながら、積極的な広報活動に努めていきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	適正に実施されており、要求水準を満たしている。効果的なPR方法の検討を継続しながら、積極的な広報活動に努めていきたい。			
A	B	C	D								
適正に実施されており、要求水準を満たしている。効果的なPR方法の検討を継続しながら、積極的な広報活動に努めていきたい。											
2 自主事業その他											
<p>▽ 自主事業</p> <p>なし</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>当地区センターの第三者委託は市内企業へ発注することを原則としている。</p> <p>また、グループホームからの要望により作品のロビーへの展示も行った。</p>	<p>外注は、市内企業を第一に考えている。また、地域の福祉施設の作品展示依頼にはできるだけ対応している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適正に実施されていると評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適正に実施されていると評価できる。				
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適正に実施されていると評価できる。											



## 3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	2月1日～14日の期間、当地区センターの利用者にアンケートを配布して実施した。(224人分を回収)	概ね好評価を得ており、適正な管理運営が行われていると評価できる。 アンケート結果を踏まえ、引き続き利用者ニーズの把握とその対応に努めていただきたい。			
結果概要	<p>①来館の目的を聞いた問いでは、ホールを借りてのスポーツ活動等が26%、サークル活動が25%、図書室利用が30%、無料開放事業が18%であった。</p> <p>②再度当地区センターを利用したいかとの問いには、ぜひ利用したいが74%、利用したいが24%、どちらかといえば利用したいが1%であった。</p> <p>③職員の接客対応を聞いた問いでは、とても良いが55%、良いが33%、普通が12%であった。</p> <p>④館内の清掃を聞いた回答では、とても良いが53%、良いが39%、普通が7%、やや悪いが1%であった。</p> <p>⑤貸室の利用者へのアンケートで、また貸室をご利用いただけますかとの問いには、ぜひ利用したいが41%、利用したいが32%、どちらかといえば利用したいが11%、どちらでもないが15%、利用したくないが1%であった。</p> <p>⑥図書室利用者へのアンケートで、また菊水元町地区センターの図書室をご利用いただけますかとの問いには、ぜひ利用したいが55%、利用したいが33%、どちらかといえば利用したいが5%、どちらでもないが7%、利用したくないが0%であった。</p>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>希望する講習会等の設問には、予防体操、ストレッチ、エアロビクス等の運動系や、洋裁、着付け教室、小学生の習字、陶芸、庭木の剪定等があった。</p> <p>その他の意見では、図書室の利用に関するお礼や、バレーボール開放事業へのお礼があった。また、図書室の本の充実を希望するとの意見や白石区民でないため、講座に参加できなくて残念だとの申し出もあった。</p>				
		<p>アンケートについては、来館者に対して行っており、非常に良好な結果が出ている。</p> <p>利用者からの意見や要望については、できるものについて、新年度の事業に活かすことを基本としている。</p> <p>平成28年度までは、講座の対象者を白石区民としていたが、新年度から市民を対象とすることに改めた。</p> <p>また、運動系講座の要望で複数あったストレッチ関係の講座を新年度に行うこととしている。</p> <p>図書室の本の充実については、毎年同じような意見があることから、平成28年度においても子ども向けの図書や一般書籍計146冊(約189千円)を購入した。</p>			

## 4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)	<p>無料開放事業と貸室予約のルールを見直すことにより、使用料収入が前年より伸びている。また、経費節減に努めて利用者への利益還元も積極的に実施しており、適正に運営されていると評価できる。引き続き、改善に向けた取り組みに努めていきたい。</p> <p>利用料金収入が増加しているが、無料開放事業の時間帯であっても、有料貸付申込みが8日前迄であれば、有料貸付申込を優先している取扱いや多目的ホールの無料開放で、半面の有料貸付を可とする取扱いの結果であると推測している。</p> <p>法人税等は、札幌東税務署長から実費弁償による事務処理の受託等の確認を受けているため、非課税の取扱いを受けている。</p> <p>増収となった利用料金や事業費の節約分を、利用者に気持ちよく当地区センターを利用してもらうための備品消耗品の取替や新規購入に充てており、今後も同様の考え方で継続していく。</p> <p>利用料金収入の増加の主な理由は、無料開放事業であっても、中止のお知らせが可能な期日前の申込みであれば、有料貸室優先等といった取扱いが周知されてきた結果であると判断している。</p>			
収入	31,137	31,365	228				
指定管理業務収入	31,137	31,365	228				
指定管理費	27,186	27,186	0				
利用料金	3,550	3,912	362				
その他	401	267	▲ 134				
自主事業収入	0	0	0				
支出	31,067	31,248	181				
指定管理業務支出	31,067	31,248	181				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	70	117	47				
自主事業による利益還元			0				
法人税等	0	0	0				
純利益	70	117	47				
【参考】	H28決算	内容					
指定管理業務による利益還元	612	下記のとおり					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書室ロールスクリーンの取替(224千円)</li> <li>○多目的ホール内得点版の交換(36千円)</li> <li>○実習室内調理器具の交換(104千円)</li> <li>○2Fソファの交換(23千円)</li> <li>○ロビーの椅子テーブルの購入(36千円)</li> <li>○図書の購入(189千円)</li> </ul>							
▽ 説明							
<p>平成28年度の利用料金収入が、3,912千円であり、予算より362千円、前年度決算より377千円の増となっている。このことは、事業別の件数・人数調査の結果でも、有料貸室の件数、人数の上昇が顕著となって表れている。</p>							

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 サークルメンバーの高齢化によって、サークルの参加人数が減り、サークル活動を停止したグループが複数できてきているため、サークル活動に係る利用料金に影響が出ている状況ではあるが、当運営委員会の財政状況等は、無料開放事業の柔軟な取扱いや経常費用を極力抑える努力により、良好な状況が継続している。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 個人情報の取り扱いには細心の注意を払っている。また、公開すべき情報はホームページで出来る限り提供している。 当地区センターの入口に利用案内を掲示しているが、その中に暴力団やその構成員には利用を断る旨記載している。 なお、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例が適用されるような事案はなかった。		適 不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>地区センターの維持管理に関しては、法令等を遵守して的確に行っており、資金や現金の管理についても適正に行っている。</p> <p>区民講座に関する学習機会の提供（講座）や地域住民の交流等を目的とした事業については、地域の方から支持されて行っている。特に菊の里卓球交流会、菊の里テニポン交流会、菊の里ミニバレー交流会については、従前の大会と比較して、地区センターの管理運営の目標である「地域住民の、地域住民による、地域住民のための、コミュニティづくり」により貢献した事業となっている。</p> <p>囲碁大会も囲碁交流会に改め、参加者が愉しく平等に対局できるよう工夫した。また、新たに女性に人気の健康マージャンを介した交流会も実施した。</p> <p>平成28年度については、子どもを介してその保護者に当地区センターをPRする目的で、子どもを対象にした講座等も複数開催した。</p> <p>また、施設開放事業（無料）や図書室もよく利用されており、地域住民にとってなくてはならないものとなっている。</p> <p>以上のことから、地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図るという地区センターの設置目的に沿った管理運営を行っており、地区センターの運営に求められる要求水準を満たしていると自負している。</p>	<p>平成29年度においては、利用者の多くが高齢者であるため、普段利用が少ない子育て世代の利用促進と当地区センターのPRも兼ねて、子どもとその保護者を対象として、継続事業を含む次の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①子ども将棋道場</li> <li>②親子講座はじめての電子工作とプログラミング</li> <li>③夏休み子ども映画会（上映作品の検討）</li> <li>④夏休み工作会</li> <li>⑤冬休み子ども映画会（上映作品の検討）</li> <li>⑥子どもクイズ大会（図書室で実施）</li> <li>⑦冬休み科学工作教室</li> <li>⑧夏休み親子開放（集会室A）</li> </ol> <p>その他に、土・日曜日の夜間の利用がほとんどないことから、貸室の利用促進PRと新たな利用者の開拓を目的として、当該土・日曜日の夜間の集会室Aを、ミニシアター又はカラオケルームとして、無料開放を実施する。</p> <p>人気がなくなったパソコン講座に代えて、シニアのためのスマートフォン講座、iPad体験講座、親子講座はじめての電子工作とプログラミング（再掲）を実施する。</p> <p>2月のアンケートによると、当地区センターの事業について、まったく知らないという利用者が相当数いるため、事業実施に関するPRについては、工夫を施しながら力を入れて行っていきたいと考えている。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
厳しい立地条件の中、積極的に事業の見直しを実施し利用促進を図っており、施設の管理運営は適切に実施されている。 また、地域住民のニーズをくみ取り、地域コミュニティ活動を助長する事業を展開していることは評価できる。	重点取組事項に記載した内容を実施することで、幅広い層の利用者を取り込むことが期待されるので、確実に実施するとともに、引き続き、積極的に事業の見直しや改善を行い、更なる利用促進を図り、安定的なセンター運営に努めていただきたい。